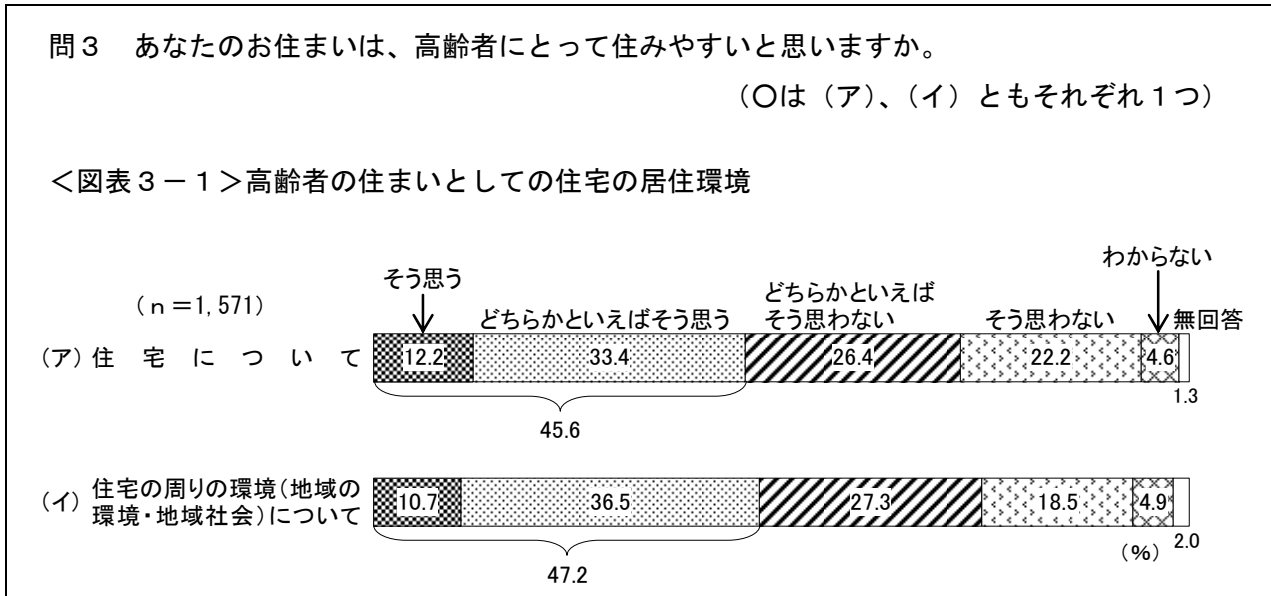


2 【高齢期の住まいについて】

(1) 高齢者の住まいとしての住宅の居住環境

◇『そう思う』は<住宅の周りの環境（地域の環境・地域社会）について>で約5割



高齢者にとって住みやすい居住環境かを聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は<住宅について>（45.6%）で4割台半ば、<住宅の周りの環境（地域の環境・地域社会）について>（47.2%）で約5割となっている。（図表3-1）

【地域別】

地域別にみると、<住宅について>において、『そう思う』は“山武地域”（53.4%）で5割台半ばとなっており、“北総地域”（52.0%）、“海匝地域”（51.1%）で5割を超えている。<住宅の周りの環境（地域の環境・地域社会）について>において、『そう思う』は“葛南地域”（50.6%）、“東葛飾地域”（49.9%）、“山武地域”（48.3%）、“北総地域”（48.0%）、“千葉地域”（47.5%）で5割近くなっている。（図表3-2）

【性・年代別】

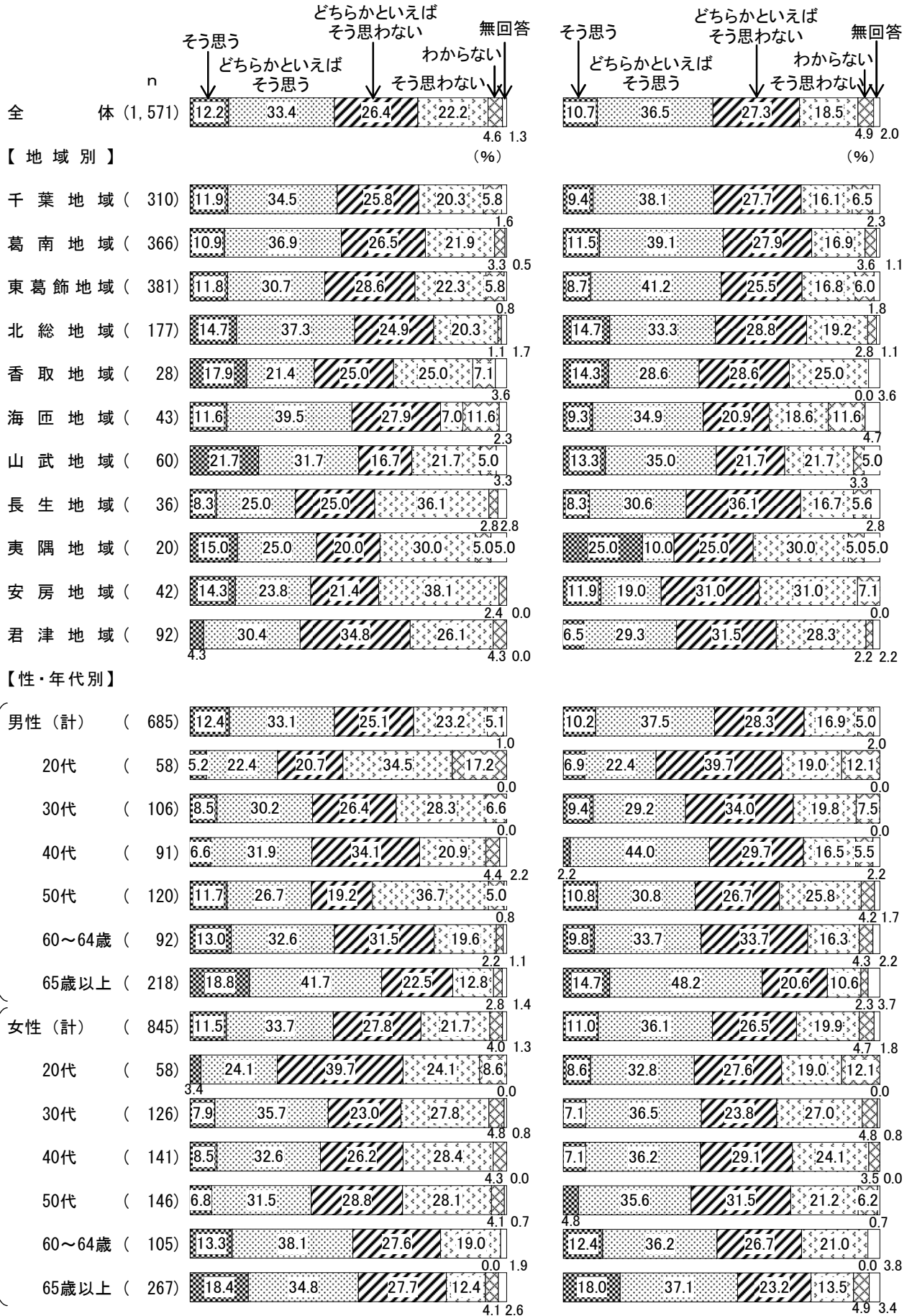
性・年代別にみると、<住宅について>において、『そう思う』は男性65歳以上（60.5%）が6割で他の年代と比べて高くなっている。<住宅の周りの環境（地域の環境・地域社会）について>において、『そう思う』は男性65歳以上（62.9%）が6割を超え他の年代と比べて高くなっている。

（図表3-2）

<図表3-2>高齢者の住まいとしての住宅の居住環境/地域別、性・年代別

(ア) 住宅について

(イ) 住宅の周りの環境(地域の環境・地域社会)について

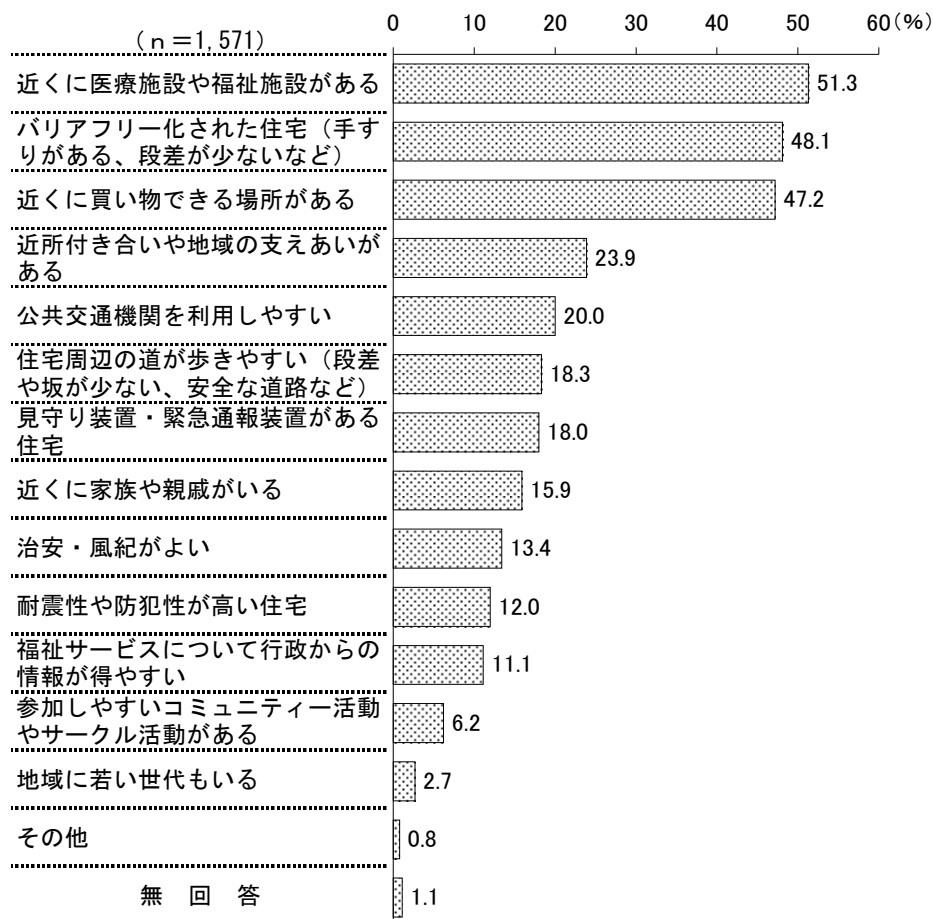


(2) 高齢期の住まいで重要なこと

◇「近くに医療施設や福祉施設がある」が5割を超える

問4 高齢者の住まいを考えると、あなたが重要だと思うことは何ですか。(○は3つまで)

<図表4-1>高齢期の住まいで重要なこと



高齢期の住まいで重要なことを聞いたところ、「近くに医療施設や福祉施設がある」(51.3%)、「バリアフリー化された住宅(手すりがある、段差が少ないなど)」(48.1%)、「近くに買い物できる場所がある」(47.2%)が他の事項に比べ高くなっている。(図表4-1)

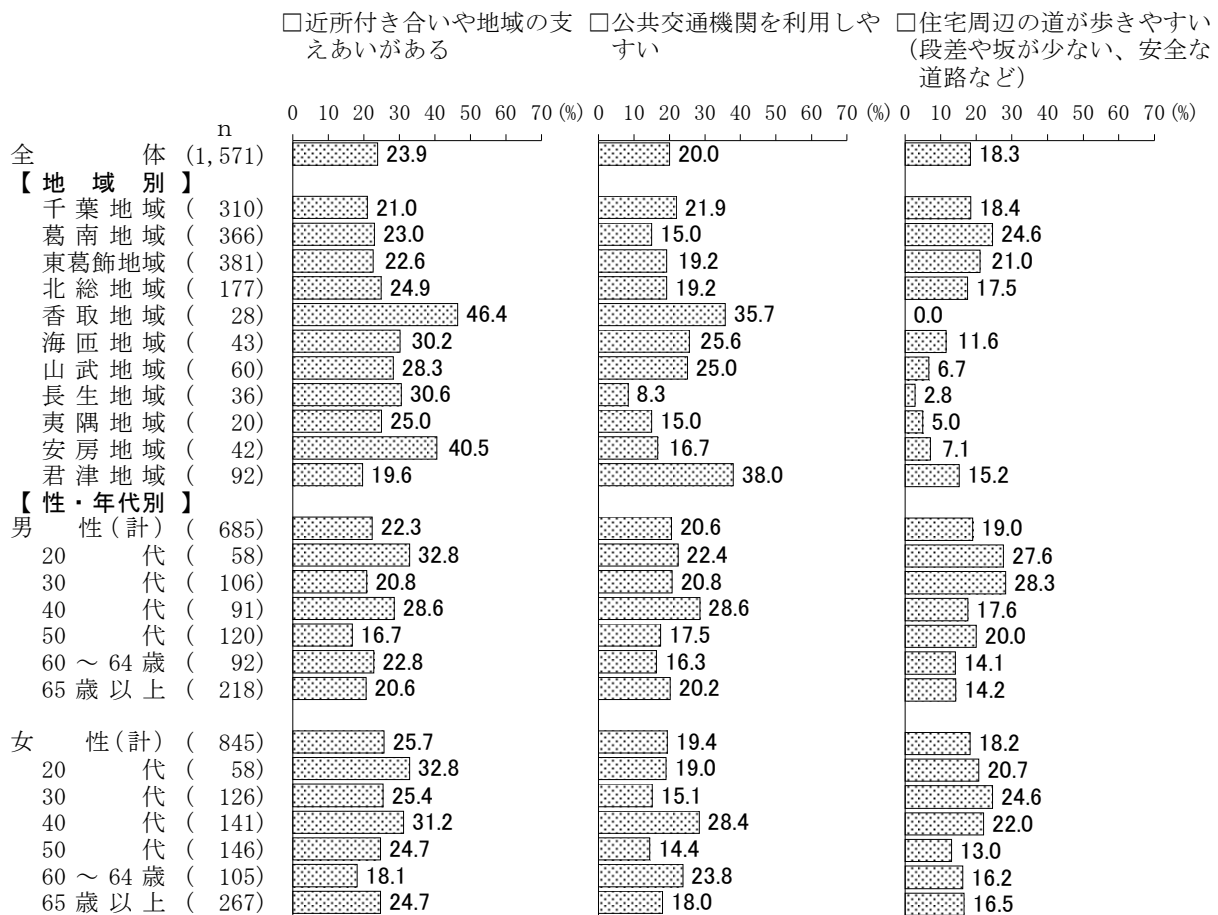
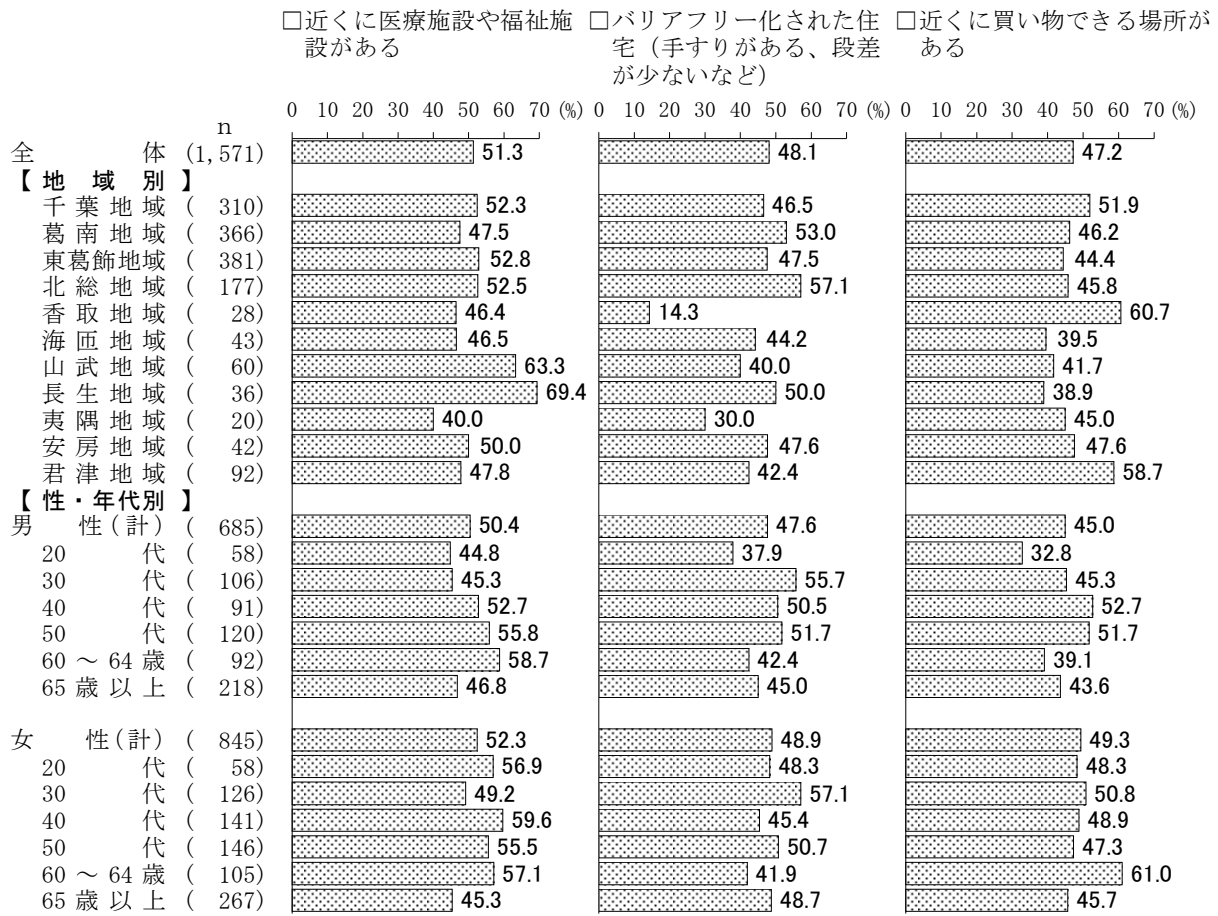
【地域別】

地域別にみると、「近くに医療施設や福祉施設がある」は“長生地域”(69.4%)で約7割、“山武地域”(63.3%)で6割台半ばとなっている。「近くに買い物できる場所がある」は“香取地域”(60.7%)で6割を超えている。「近所付き合いや地域の支えあいがある」は“香取地域”(46.4%)で4割台半ばとなっている。(図表4-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「近くに医療施設や福祉施設がある」は男性60～64歳(58.7%)、女性40代(59.6%)、60～64歳(57.1%)で約6割となっている。「近くに買い物できる場所がある」は女性60～64歳(61.0%)で6割を超え他の年代と比べて高くなっている。(図表4-2)

<図表4-2>高齢期の住まいで重要なこと／地域別、性・年代別

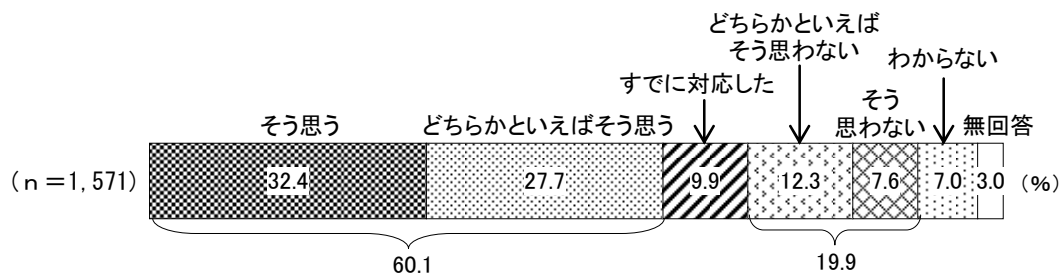


(3) 高齢期に備えた住宅の建て替え・買い換え・リフォームなどの必要性

◇『そう思う』は6割

問5 高齢期に備え、あなたがお住まいの住宅の建て替え、買い替え、リフォームなどが必要だと思いませんか。予定の有無にかかわらずお考えください。また、対応済みの方は、「すでに対応した」を選択してください。(〇は1つ)

<図表5-1> 高齢期に備えた住宅の建て替え・買い換え・リフォームなどの必要性



高齢期に備えた住宅の建て替え・買い換え・リフォームなどの必要性を聞いたところ、「そう思う」(32.4%)と「どちらかといえばそう思う」(27.7%)を合わせた『そう思う』(60.1%)は6割、「すでに対応した」(9.9%)は約1割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(12.3%)と「そう思わない」(7.6%)を合わせた『そう思わない』(19.9%)は約2割となっている。

(図表5-1)

【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“長生地域”(75.0%)で7割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。『そう思わない』は“葛南地域”(25.1%)と“海匠地域”(23.2%)で2割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表5-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は女性40代(71.7%)で7割を超え、女性50代(69.1%)で約7割となっている。(図表5-2)

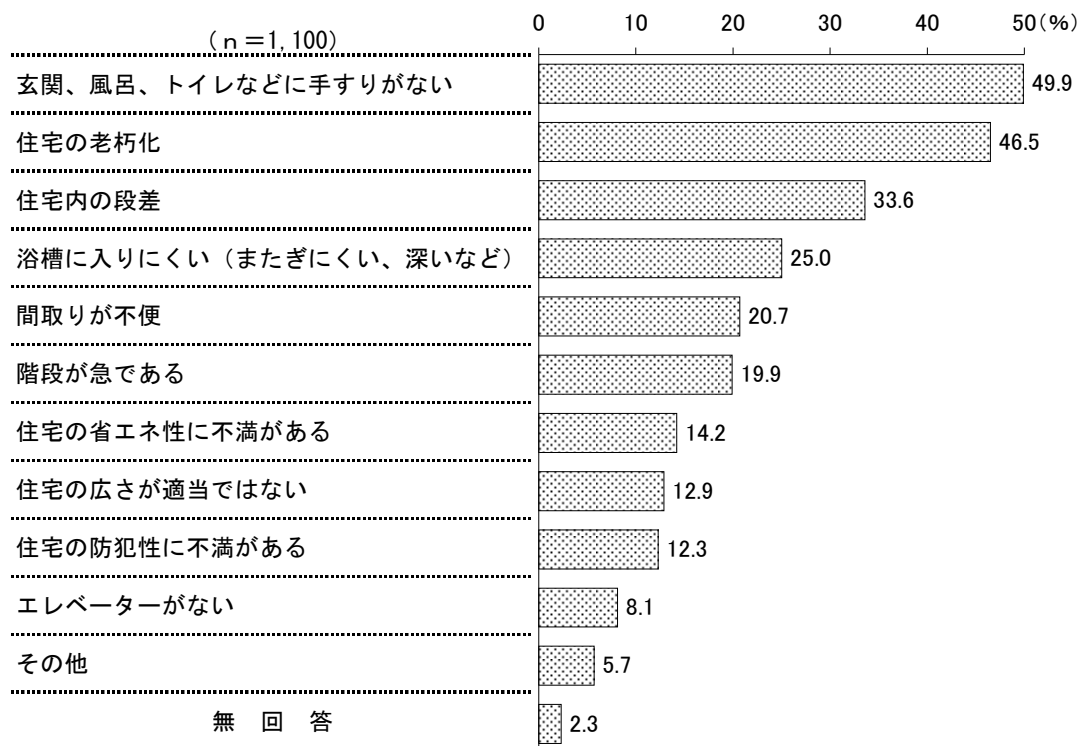
(3-1) 住宅の建て替え・買い換え・リフォームなどが必要な理由

◇「玄関、風呂、トイレなどに手すりがない」が約5割

(問5で「1 そう思う」「2 どちらかといえばそう思う」「3 すでに対応した」とお答えの方に)

問5-1 その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<図表5-1-1>住宅の建て替え・買い換え・リフォームなどが必要な理由



問5で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「すでに対応した」と回答した人(1,100人)に住宅の建て替え・買い換え・リフォームなどが必要な理由を聞いたところ、「玄関、風呂、トイレなどに手すりがない」(49.9%)が約5割となっており、以下、「住宅の老朽化」(46.5%)、「住宅内の段差」(33.6%)などが続く。(図表5-1-1)

【地域別】

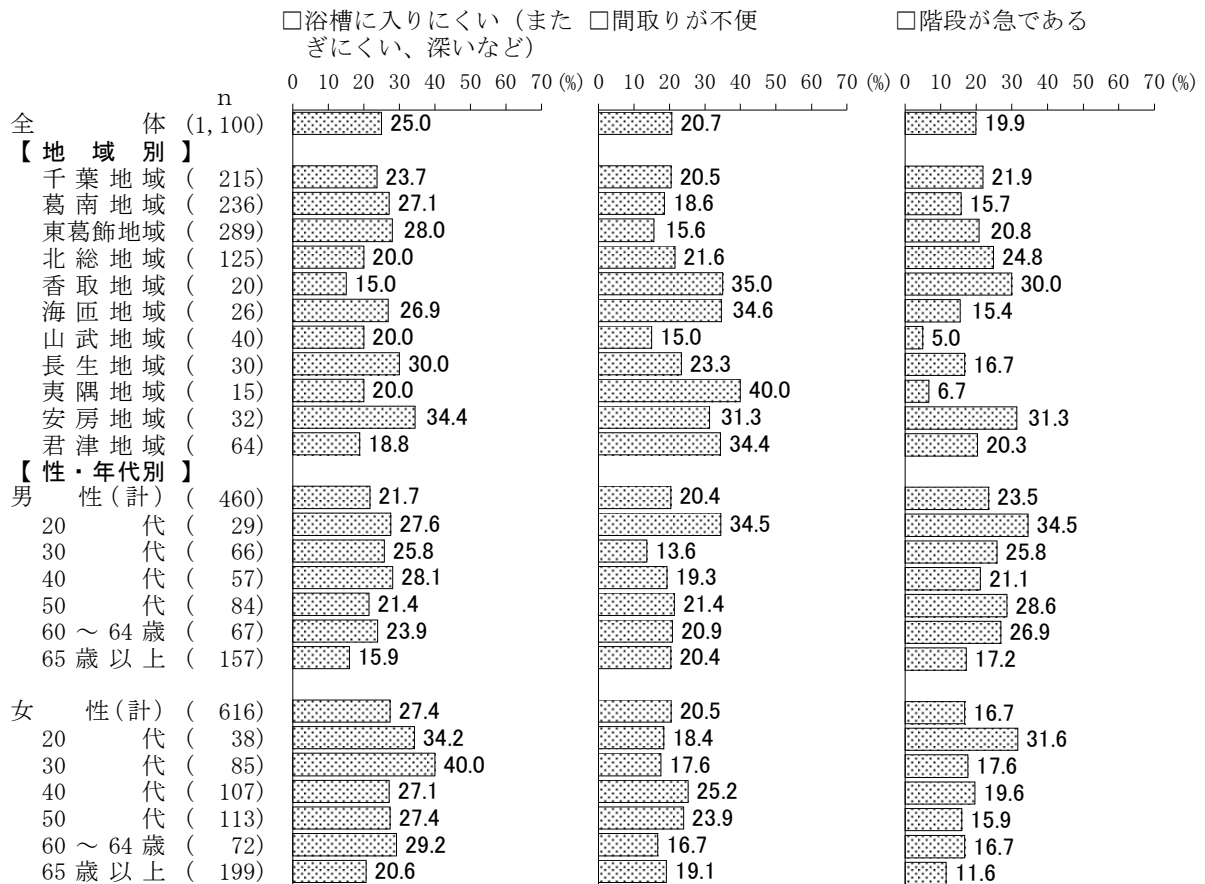
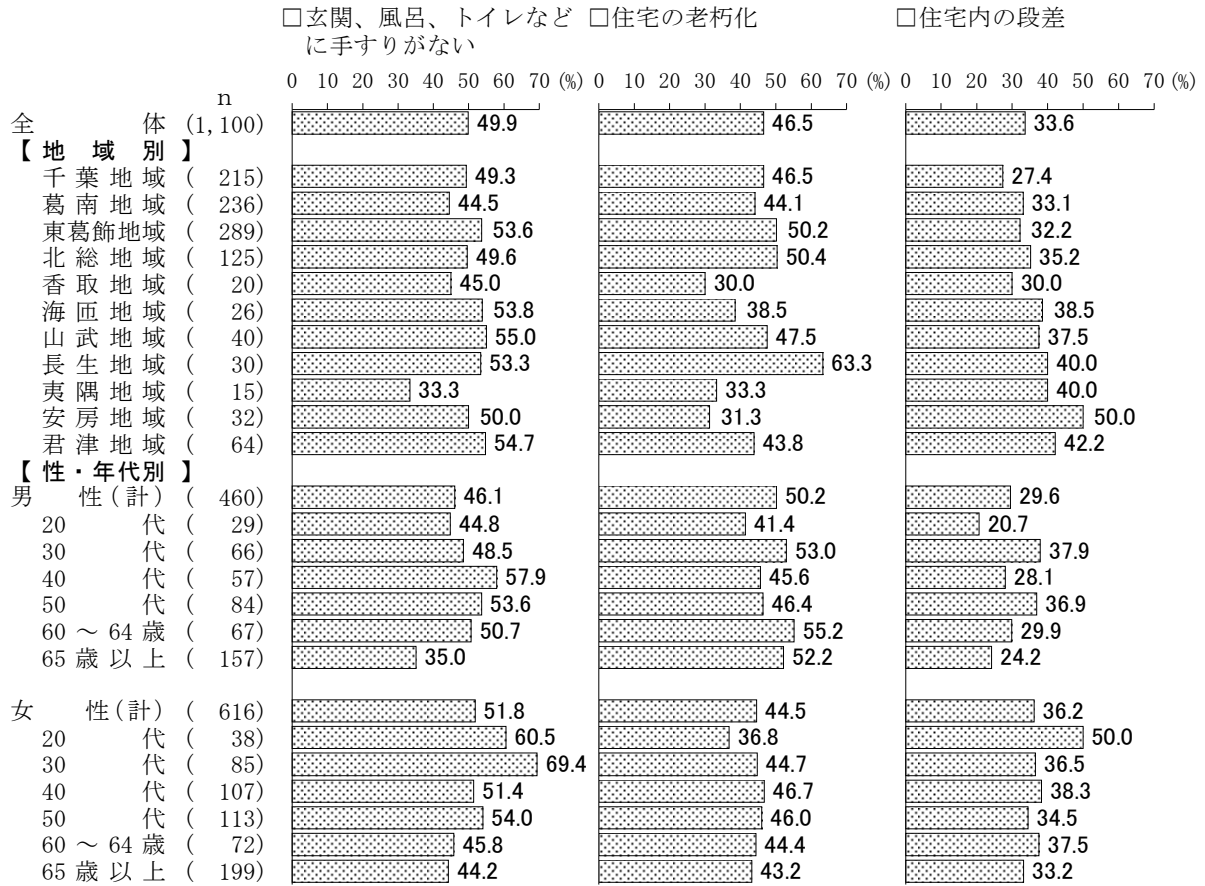
地域別にみると、「住宅の老朽化」は“長生地域”(63.3%)で6割台半ばと他の地域と比べて高くなっている。(図表5-1-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「玄関、風呂、トイレなどに手すりがない」は女性30代(69.4%)が約7割で他の年代と比べて高くなっている。(図表5-1-2)

<図表5-1-2>住宅の建て替え・買い換え・リフォームなどが必要な理由

／地域別、性・年代別



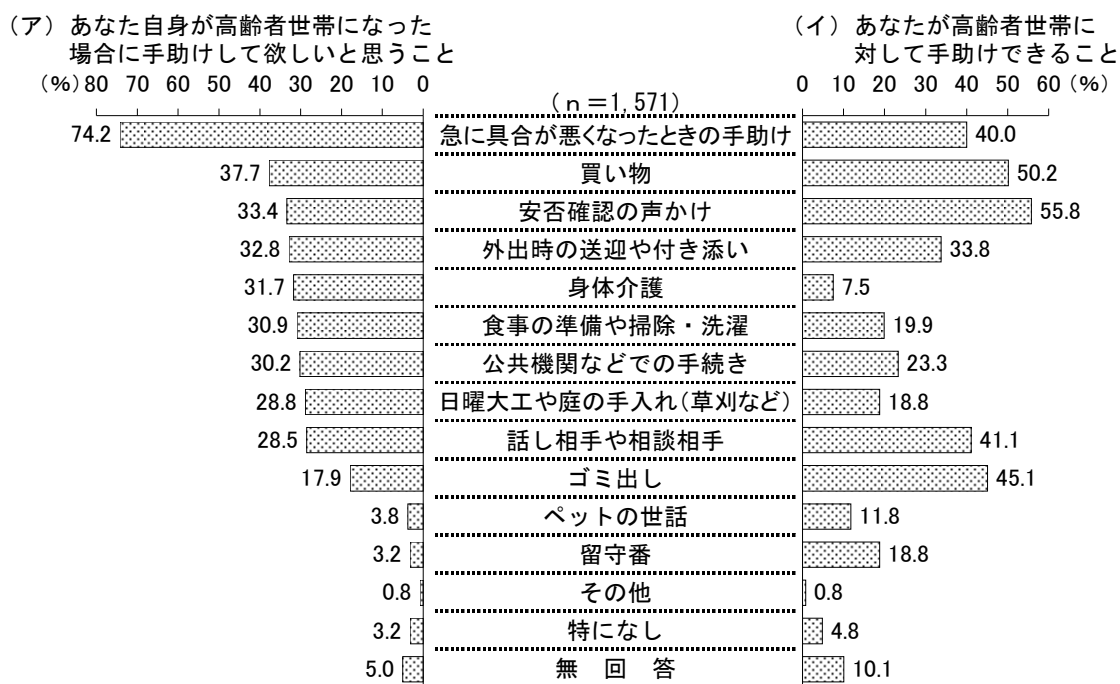
(4) 高齢者世帯への手助け

◇<あなた自身が高齢者世帯になった場合に手助けして欲しいと思うこと>においては「急に具合が悪くなった時の手助け」が7割台半ば

<あなたが高齢者世帯に対して手助けできること>においては「安否確認の声かけ」が5割台半ば

問6 高齢者世帯（65歳以上の者のみの世帯）の生活への手助けについてお聞きします。
 (ア) あなた自身が高齢者世帯になった場合に手助けして欲しいと思うことは何ですか。
 (イ) あなたが高齢者世帯に対して手助けできることは何ですか。
 それぞれについてお答えください。(〇はいくつでも)

<図表6-1> 高齢者世帯への手助け



高齢者世帯への手助けを聞いたところ、<あなた自身が高齢者世帯になった場合に手助けして欲しいと思うこと>においては「急に具合が悪くなった時の手助け」(74.2%)が7割台半ばとなっており、以下、「買い物」(37.7%)、「安否確認の声かけ」(33.4%)などが続く。<あなたが高齢者世帯に対して手助けできること>においては「安否確認の声かけ」(55.8%)が5割台半ばとなっており、以下、「買い物」(50.2%)、「ゴミ出し」(45.1%)などが続く。(図表6-1)

【地域別】

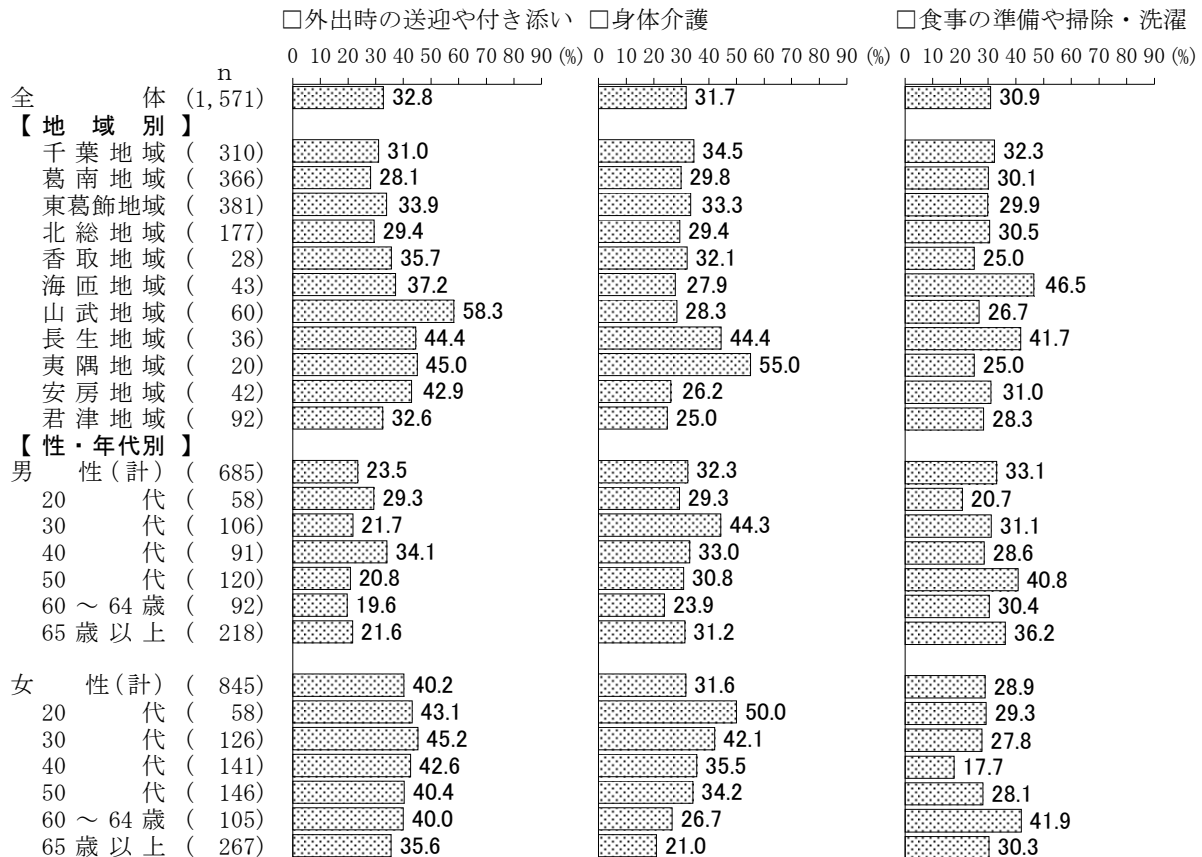
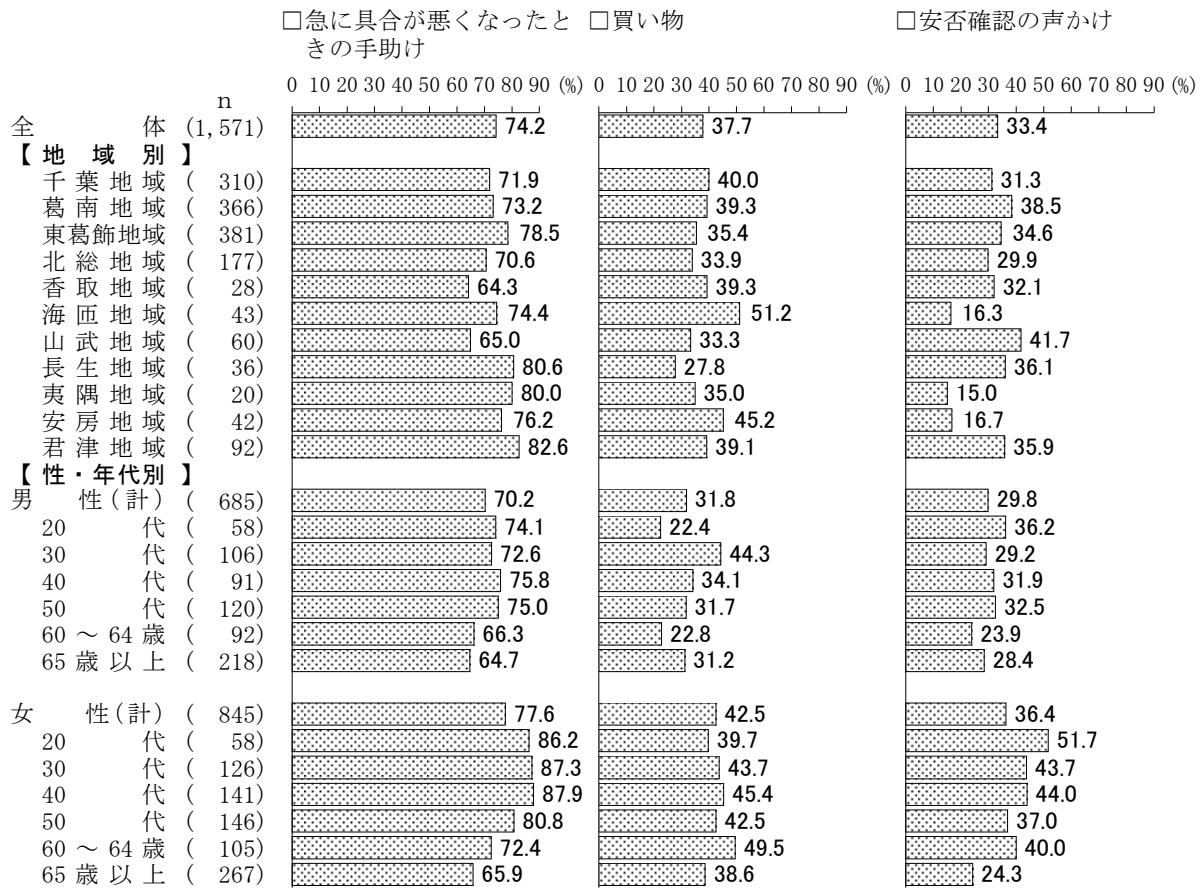
地域別にみると、<あなた自身が高齢者世帯になった場合に手助けして欲しいと思うこと>において、「外出時の送迎や付き添い」は“山武地域”(58.3%)が約6割で他の地域と比べて高くなっており、「買い物」は“海匝地域”(51.2%)が5割を超えており、他の地域と比べて高くなっている。<あなたが高齢者世帯に対して手助けできること>において、「安否確認の声かけ」は“安房地域”(66.7%)と“夷隅地域”(65.0%)が6割台半ばとなっている。(図表6-2)

【性・年代別】

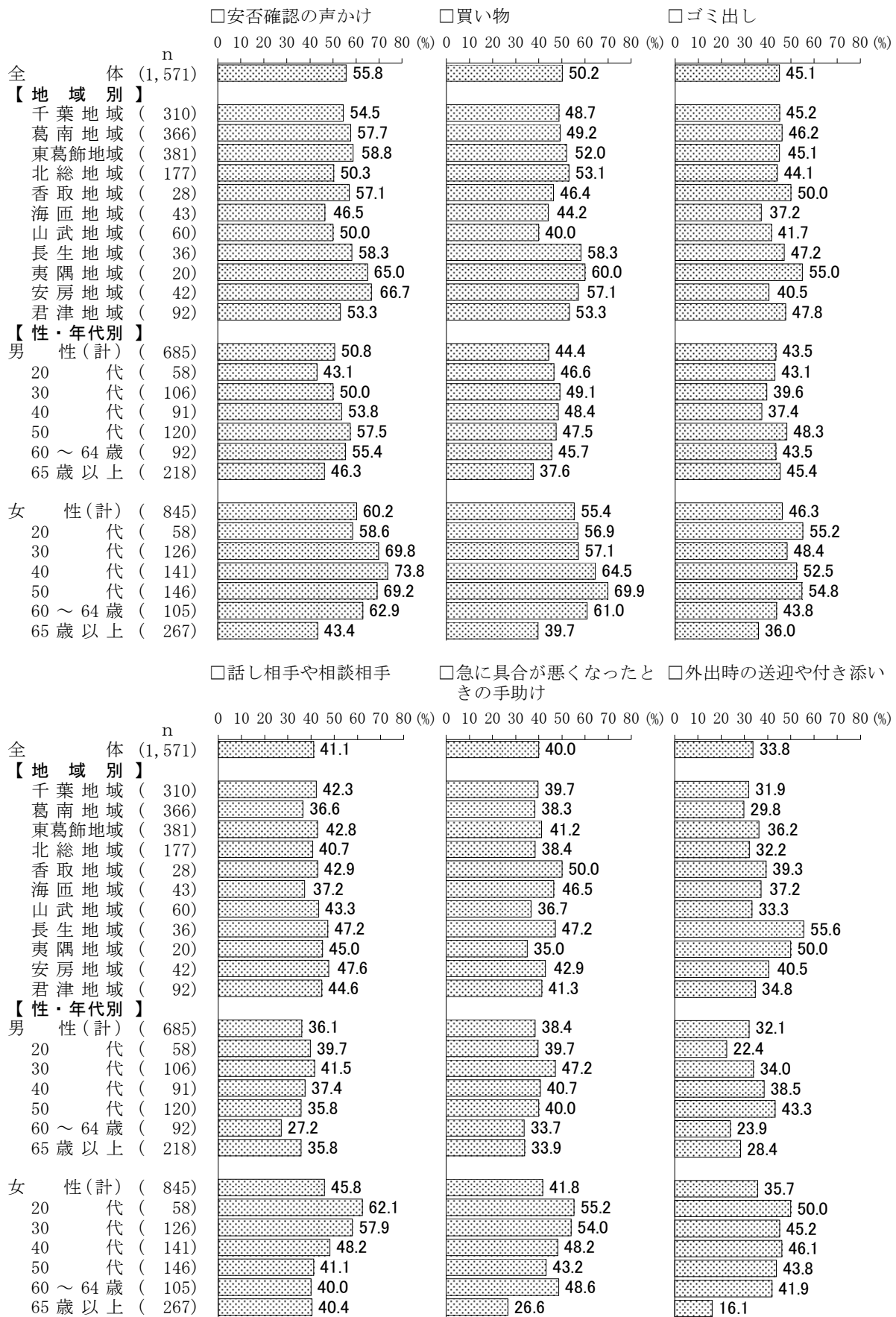
性・年代別にみると、<あなた自身が高齢者世帯になった場合に手助けして欲しいと思うこと>において、「急に具合が悪くなった時の手助け」は女性30代(87.3%)と40代(87.9%)で約9割と他の年代と比べて高くなっている。<あなたが高齢者世帯に対して手助けできること>において、「安否確認の声かけ」は女性40代(73.8%)で7割台半ばと他の年代と比べて高くなっている。(図表6-2)

<図表6-2>高齢者世帯への手助け／地域別、性・年代別

(ア) あなた自身が高齢者世帯になった場合に手助けして欲しいと思うこと



(イ) あなたが高齢者世帯に対して手助けできること

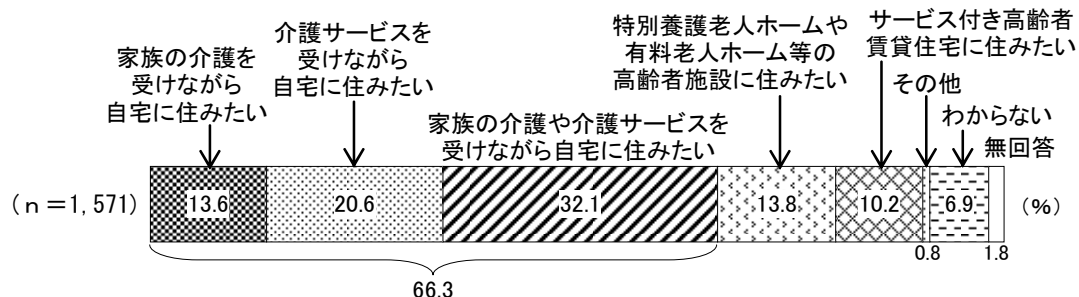


(5) 介護が必要になったとき希望する住まいかた

◇『自宅に住みたい』は6割台半ば

問7 あなたは、介護が必要になったとき、どのような住まい方を望みますか。(○は1つ)

<図表7-1>介護が必要になったとき希望する住まいかた



介護が必要になったとき希望する住まいかたを聞いたところ、「家族の介護や介護サービスを受けながら自宅に住みたい」(32.1%)が3割を超え、「介護サービスを受けながら自宅に住みたい」(20.6%)が2割を超えており、さらに「家族の介護を受けながら自宅に住みたい」(13.6%)の3つを合わせた『自宅に住みたい』(66.3%)は6割台半ばとなっている。(図表7-1)

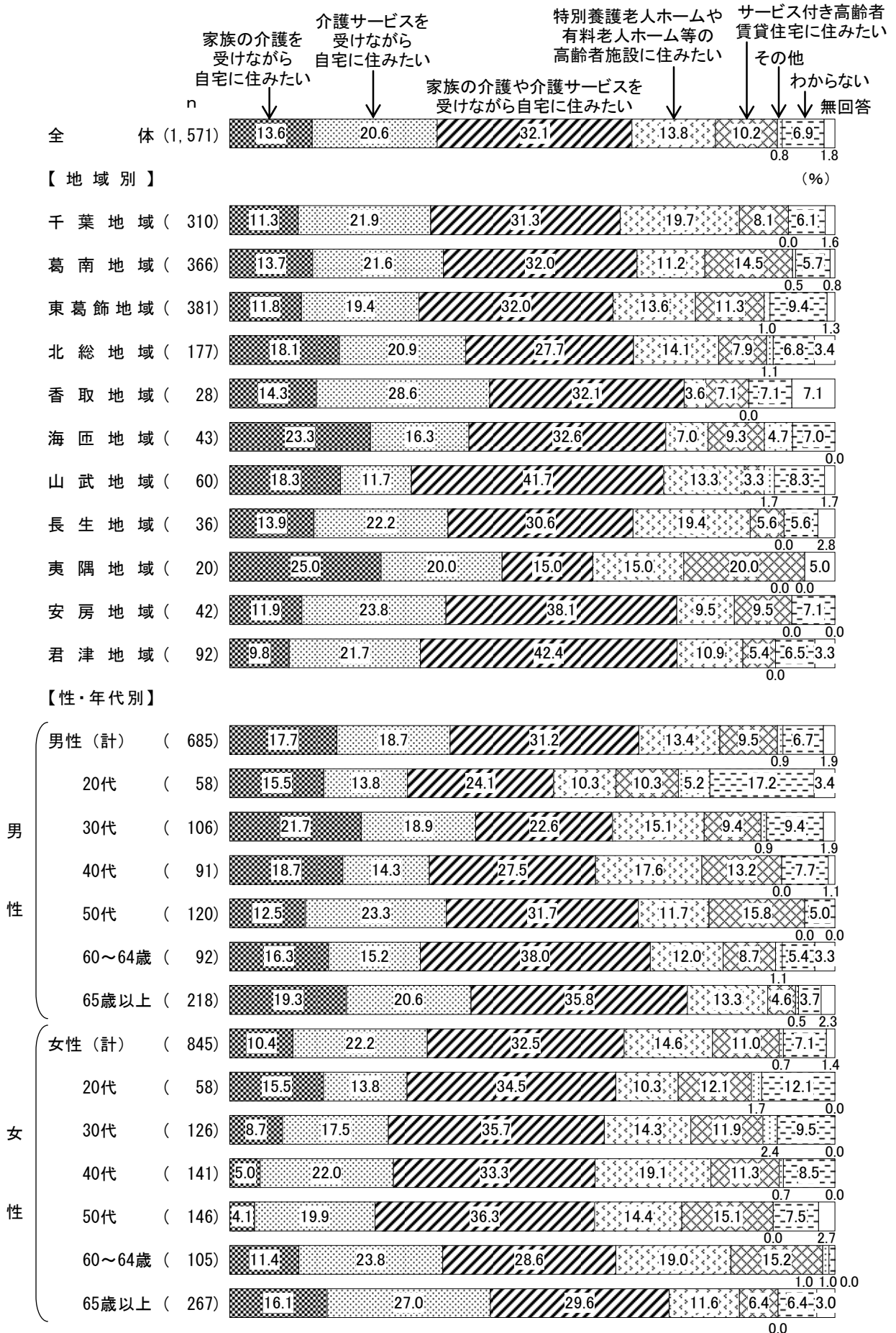
【地域別】

地域別にみると、『自宅に住みたい』は“香取地域”(75.0%)、“君津地域”(73.9%)、“安房地域”(73.8%)で7割台半ばとなっている。(図表7-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『自宅に住みたい』は男性65歳以上(75.7%)で7割台半ば、女性65歳以上(72.7%)で7割を超えており、他の年代と比べて高くなっている。(図表7-2)

<図表7-2>介護が必要になったとき希望する住まいかた／地域別、性・年代別

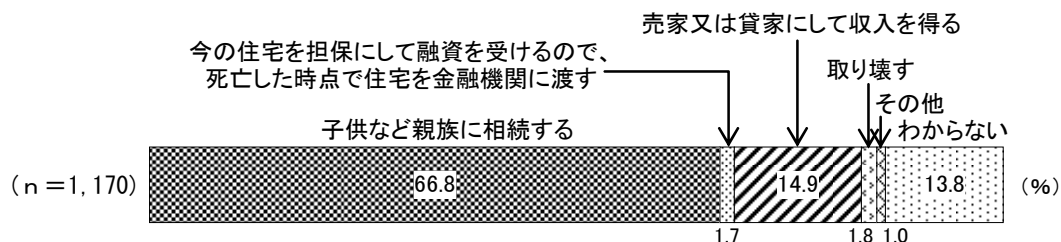


(6) 住まなくなった際の住宅

◇「子供など親族に相続する」が6割台半ば

問8 ご自分（又は配偶者）の持ち家にお住まいの方にお聞きます。あなた（配偶者のいる方は「あなたとあなたの配偶者」）が今お住まいの住宅に住まなくなるとき、住宅をどうしますか。（○は1つ）

<図表8-1>住まなくなった際の住宅



自身又は配偶者の持ち家に住んでいる人(1,170人)に、住まなくなった際の住宅を聞いたところ、「子供など親族に相続する」(66.8%)が6割台半ばとなっており、次いで、「売家又は貸家にして収入を得る」(14.9%)が1割台半ばとなっている。(図表8-1)

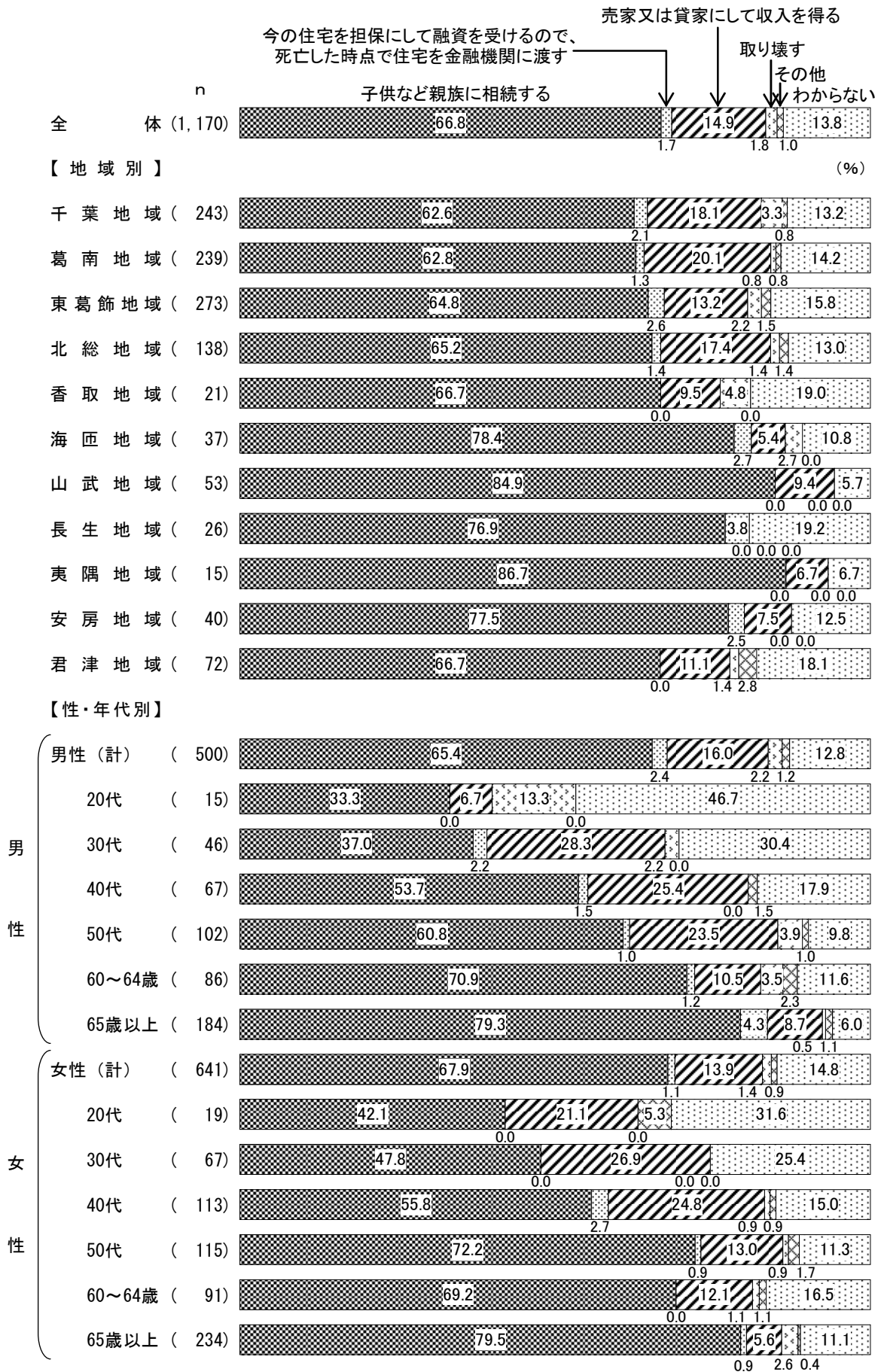
【地域別】

地域別にみると、「子供など親族に相続する」は“夷隅地域”(86.7%)と“山武地域”(84.9%)で8割台半ばとなっている。「売家又は貸家にして収入を得る」は“葛南地域”(20.1%)で2割と他の地域と比べて高くなっている。(図表8-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「子供など親族に相続する」は男女ともおおむね年代が上がるほど割合が高くなる傾向にある。(図表8-2)

<図表8-2> 住まなくなった際の住宅/地域別、性・年代別



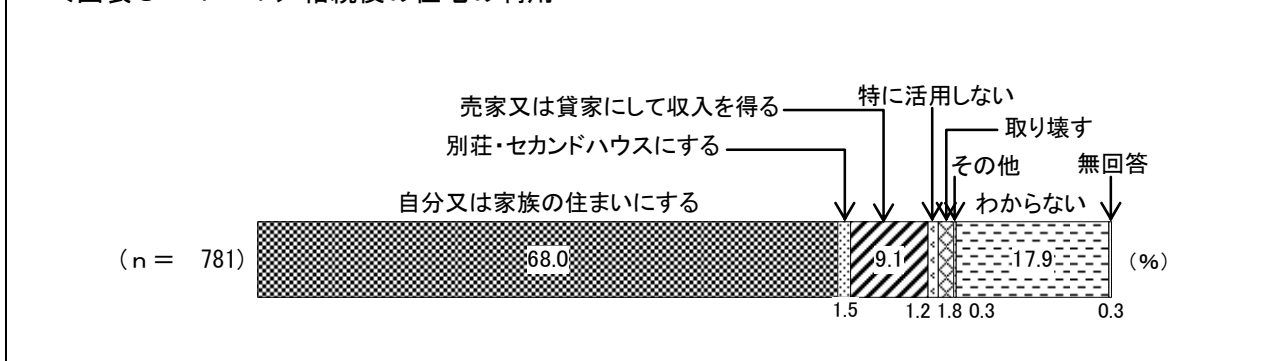
(6-1) 相続後の住宅の利用

◇「自分又は家族の住まいにする」が約7割

(問8で「2 子供など親族に相続する」とお答えの方に)

問8-1 あなたが今お住まいの住宅を相続する方は、相続後、その住宅をどうすると思いますか。(○は1つ)

<図表8-1-1>相続後の住宅の利用



問8で「子供など親族に相続する」と回答した人(781人)に相続後の住宅の利用を聞いたところ、「自分又は家族の住まいにする」(68.0%)が約7割となっており、次いで「売家又は貸家にして収入を得る」(9.1%)が約1割となっている。(図表8-1-1)

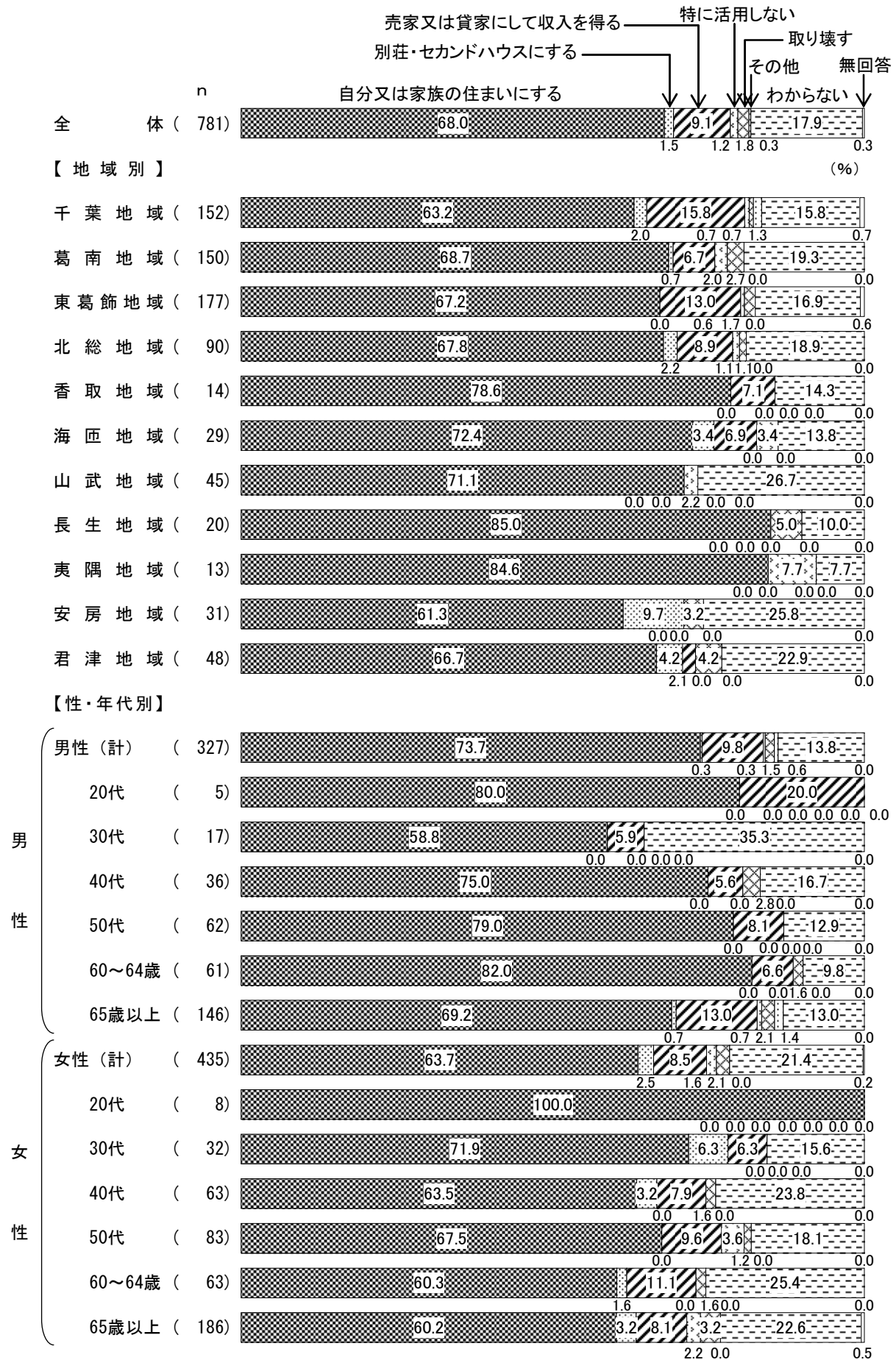
【地域別】

地域別にみると、「自分又は家族の住まいにする」はすべての地域で6割を超えている。「売家又は貸家にして収入を得る」「千葉地域」(15.8%)と「東葛飾地域」(13.0%)が1割台半ばで他の地域と比べて高くなっている。(図表8-1-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「自分又は家族の住まいにする」は男性(73.7%)の方が女性(63.7%)より10.0ポイント高く、特に男性60~64歳(82.0%)で8割を超えている。(図表8-1-2)

<図表 8-1-2> 相続後の住宅の利用／地域別、性・年代別



このほかに、「高齢期の住まいについて」やここまでの質問（問3～問8）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、142人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■ 「高齢期の住まいについて」の自由回答(抜粋)

○福祉、介護サービスがどのような物なのか、どの様に行われているのか、まだ知らない人（分からない人）が沢山いると思われる為、具体的に広く情報を提供してほしい。

（女性・40代・君津地域）

○老健の施設や特老が少ない。子供がいないのでお金を払ってサービスを受けるしか手段がないので、夫婦共に介護を受ける時がきたら現状では不安。（女性・30代・葛南地域）

○高齢者のみの住宅には、緊急通報装置を無料で取りつけるべきだと思います。通報先は通常の119とは分けて対応すれば、すぐに専門職につなげて良いと思うのですが…。

（男性・50代・東葛飾地域）

○高齢者用の家を増やしてほしい。年金生活者でも買える、または家賃を支払える様な住宅。

（女性・60～64歳・千葉地域）

○高齢期になり、住宅をリフォームされる方で収入の低い方には工事費の一部を補助することを考えてほしい。（男性・65歳以上・山武地域）

○自分で出来なくなったものについては、他からサービスを受けたい。しかし、自分の楽しみを守るプライバシーは欲しい。（男性・50代・葛南地域）

○地域ぐるみでの付き合いや、声かけが、一番大切であると思う。地域での交流が希薄であればあるほど犯罪も多く、お年寄りも不安であると思う。（女性・20代・北総地域）

○現状では、親が亡くなった場合、息子は家に帰ってくるとは言っているが、はたして本当に別に世帯を持っているのに不便な田舎に来るのか？と不安になるのは事実。

（女性・60～64歳・長生地域）

○公団住宅などを再利用（修繕）して高齢者向けに活用すべき。（男性・40代・東葛飾地域）

○近くにも、空き屋が目立ちますが、そんな家を公共で借りるなどして、サロン（お茶のみ、自由なお話し場、高齢者と若いママと赤ちゃんとの交流場）などを無料で開きたい人に貸すなどができるとういなと思います。（女性・60～64歳・千葉地域）